

2016年3月24日

株式会社 リクルート ホールディングス

2015年アカデミー賞にノミネートされた話題のアニメーション作品のアートワークも展示

トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅 開催！

3月25日(金)～4月28日(木)

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「クリエイションギャラリーG8（<http://rcc.recruit.co.jp/>）」では、2016年3月25日（金）から4月28日（木）の期間、トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅を開催いたします。

トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅について

トンコハウスは、堤 大介とロバート・コンドウの2人が設立したアニメーションスタジオです。ピクサーでアートディレクターとして、『トイ・ストーリー3』や『モンスターズ・ユニバーシティ』のアートワークを手がけた2人が、純粋に作ることを楽しみ、チャレンジし続ける環境を求めて2014年に新たなスタートを切りました。

そんな2人が2013年初めて監督としてゼロから制作に挑んだ『ダム・キーパー』は、2015年のアカデミー賞にノミネートされ、日本でも大きな話題となりました。この作品は、世界各地の映画祭で20以上の賞を受賞し、ベルリン国際映画祭をはじめ各国の映画祭で公式出品作として多数上映されるなど、世界から高く評価されています。

「『ダム・キーパー』の旅」と題した本展では、『ダム・キーパー』のキャラクターデザインやマケット、背景やストーリー設定など、作品の世界観を作り上げるさまざまなアートワークをご紹介します。また、スペシャル企画として、こま撮りアニメーションのスタジオ「ドワフ」やジオラマアーティストの荒木 智との新作コラボレーションも展示。あわせて、サンフランシスコにあるトンコハウスの内装を再現したスペースでは、これまでの仕事や進行中のプロジェクトもご紹介します。

「なぜ自分たちはアニメーションを作るのか」「なぜこのストーリーなのか」「なぜこの設定なのか」など、「なぜ」という問いを繰り返しながらやりたいことの本質を形にしていこうという堤とコンドウ。そうして時間をかけて丁寧に作られた作品は、子どもから大人まで幅広い世代に愛されています。

本展はトンコハウスの初めての展覧会です。スタジオに遊びに来た気分で、ぜひアニメーション制作の現場をご覧ください。

■展覧会名 トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅

■会期 2016年3月25日（金）～4月28日（木）
11:00～19:00 日曜・祝日休館（3月27日(日)は開館）／入場無料
※初日の19:00～20:30はオープニングパーティーを開催します

■会場 クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1階
TEL 03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>



■展示内容 『ダム・キーパー』のキャラクターデザインやマケット、背景やストーリー設定など、作品の世界観を作り上げるさまざまなアートワークを展示。さらに、こま撮りアニメーションのスタジオ「ドワフ」やジオラマアーティストの荒木 智との新作コラボレーションや、サンフランシスコにあるトンコハウスの内装を再現し、これまでの仕事や進行中のプロジェクトもご紹介します。

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここいない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>

トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅について

■協力 株式会社ディー・ワイ・オー ドワーフ/株式会社アニマ/情景師アラキー 荒木智

■トークイベント

テーマ：「トンコハウスの旅ー『ダム・キーパー』から現在まで、そして未来の話ー」

日時：2016年3月26日（土） 16:00～17:30

出演：堤 大介 & ロバート・コンドウ

入場無料 要予約（TEL 03-6835-2260）

■展示解説「トンコハウス展を100倍楽しむ方法」 & サイン会

展覧会をもっと深く知りたい、より楽しみたいという方へ、堤 大介とロバート・コンドウの2人が、展覧会の作品を解説します。解説終了後は、サイン会を開催。会場でお買い上げいただいたトンコハウスのDVDや作品集、グッズに2人がサインをします。

日時：2016年3月27日（日） 13:00～14:00 ※この日のみ、日曜開館となります

出演：堤 大介 & ロバート・コンドウ

入場無料 予約不要

■展覧会によせて

2012年、当時ピクサーのアートディレクターだった私たちは、自分たちの仕事の枠を超えた映画制作の経験を探し求めていました。自分たちで脚本を書いて、短編映画を一本撮ってみよう。それが2人が見つけた答えでした。初監督作品『ダム・キーパー』は、私たちの期待を遥かに超える高評価を集め、2015年のアカデミー賞のノミネートにつながりました。チームを作り、仲間たちと共に映画を完成させるという、人生を変えてしまうほどの経験は、私たちの現状を大きく見直すきっかけとなりました。それが2人が「なぜ？」と、自らに問う事にこだわり始めたきっかけです。結果、私たちはピクサーという快適な環境を飛び出し、未知の領域だとしても、常に自分たちが学び続けられる道を選ぶことを決めました。2014年7月にピクサーを退社し、世界の人々にストーリーを伝えながら、クリエイターが成長できる場として、トンコハウスを立ち上げました。

『トンコハウス展』では、短編『ダム・キーパー』のアートワークを中心に、広がり続ける『ダム・キーパー』の世界を紹介します。あわせて、新作『ムーム』や未公開の新プロジェクト案などを含め、日本の制作パートナーとも親密な関係を持ちながら前進するトンコハウスの軌跡を世界で初めて展覧会として披露します。

また、本展にあわせて販売される『ダム・キーパー』日本語吹替版ブルーレイ・DVD、作品集『アート・オブ・ダム・キーパー』をはじめ、トンコハウスの新商品を販売します。ご期待ください。

トンコハウス
堤 大介 ロバート・コンドウ

■プロフィール



堤 大介

東京都出身。School of Visual Arts卒業。Lucas Learning、Blue Sky Studioなどで『アイスエイジ』や『ロボッツ』などのコンセプトアートを担当。2007年ピクサー入社。アートディレクターとして『トイ・ストーリー3』や『モンスターズ・ユニバーシティ』などを手がけている。2014年7月ピクサーを去り、トンコハウスを設立した。71人のアーティストが一冊のスケッチブックに絵を描いて、世界中に回したプロジェクト『スケッチトラベル』の発案者でもある。



ロバート・コンドウ

南カリフォルニア出身。ロサンゼルス近郊のアートセンター・カレッジ・オブ・デザインを卒業。2006年、憧れていたピクサーでスケッチ・アーティストとして『レミーのおいしいレストラン』の制作に携わる。その後、背景美術監督として『レミーのおいしいレストラン』『トイ・ストーリー3』『モンスターズ・ユニバーシティ』を手がける。2014年7月ピクサーを去り、トンコハウスを設立。新たなチャレンジと冒険の毎日を送っている。

トンコハウス
『ダム・キーパー』

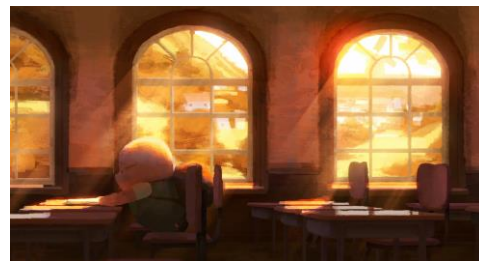
<http://www.tonkohouse.com/jp/>
<http://thedamkeeper.jimdo.com/>



1



2



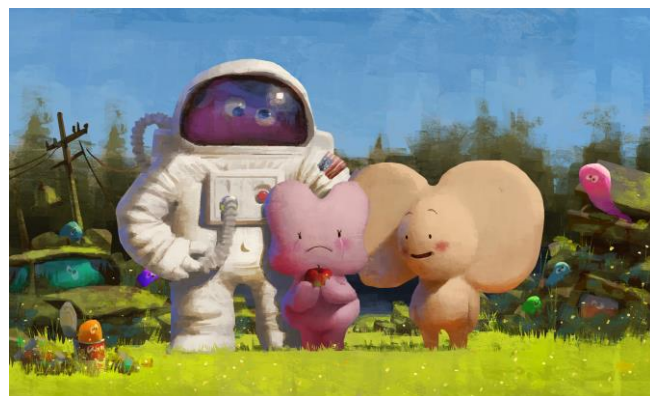
3



4



5



7



6



8



9

1. 『ダム・キーパー』カラースクリプト, 2013
2. ぶたくんときつねくん『ダム・キーパー』最終フレーム, 2013
3. 放課後のぶたくん『ダム・キーパー』最終フレーム, 2013
4. 初期キャラクター・ラインアップ, 2013
5. ぶたくん彫刻, 2014
6. 『ダム・キーパー』グラフィックノベル 出版発表グラフィック, 2015
7. 『ムーム』コンセプトアート, 2014
8. 『ダム・キーパー』バス, 2014
9. ダンサーの控え室, 2014